

MUSASHINO MUNICIPAL ASSEMBLY

武蔵野市議会だより

No.327

発行日 平成20年(2008年)5月15日

発行 武蔵野市議会
東京都武蔵野市緑町2-2-28
TEL 0422-60-1883(直)
FAX 0422-55-7555

CONTENTS

- 施政方針・代表質問2-3面
- 予算特別委員会審査概要4-5面
- 一般質問6-7面
- 行政視察等報告7面
- 議案の審議結果一覧8面
- 政府・国会への意見書、決議8面
- 陳情審議結果8面
- インターネット議会中継8面

第一回 市議会定例会

平成二十年第一回定例会は、二月二十六日から三月二十七日まで開催されました。今議会では、市長による平成二十年施政方針演説と、これに対する六人の会派代表質問、十人の議員による一般質問が行われるなど、活発な議論が交わされました。また、平成二十年武蔵野市一般会計予算を初め、計三十六件の市長提出議案、三件の議員提出議案の審議・議決が行われました。

平成二十年度予算が成立 市民とともに活力あるまちづくりへつなぐ予算 一般会計は五百五十二億八千万円

一般会計五百五十二億八千万円を中心とする平成二十年度の各会計予算が、三月二十七日の本会議で可決・成立しました。これによって市政運営の大枠が確定し、各種事業が実施されることとなります(三面に施政方針、一・三面に代表質問、四・五面に予算特別委員会審査概要及び討論を掲載)。

平成二十年度一般会計予算から、下水道事業会計・国民健康保険事業会計・老人保健(医療)会計・後期高齢者医療会計・介護保険事業会計の五特別会計予算、下水道事業会計予算(企業会計)までの各予算案については十二名の委員からなる予算特別委員会(三月三日に設置)に付託されました。十四日開会の

同委員会で正副委員長が互選され、同日から五日間にわたって審査されました。二十七日の本会議では、きくち太郎予算特別委員長より委員会における審査の概要について報告があり、その後、報告に対する討論が行われ、採決の結果、すべての会計予算は全会一致で可決されました。

なお、引き続き一般会計予算に関しては、付帯決議の審議が行われ、全会一致で可決されました(内容は八面に掲載)。

後期高齢者医療に関する条例を可決

三月十三日の本会議で、「武蔵野市後期高齢者医療に関する条例」が賛成多数で可決されました。

本条例は、本年四月より施行された後期高齢者医療制度の保険料徴収事務等に関して定めたもので、保険料徴収、被保険者資格の得失の受付、被保険者証の引渡し等窓口事務については、本市が行うこととしています。このほか、普通徴収により徴収する保険料の納期、延滞金等について定めています。

全員協議会報告 水道施設 整備・更新等に多額の事業費を要す

三月十二日、水道施設の整備計画に関する全員協議会が開催されました。本市水道施設は昭和二十九年の供給開始以来五十三年が経過し、今後も安全でおいしい水を安定的に供給するためには、浄水場、管路、取水の各施設を整備・更新する必要があります。

水道部による現段階の試算によると、整備等に要する経費は、浄水場施設は十二年間で約百三十億円、取水施設は五年間で約十三億円、管路施設は十年間の中期計画で約百八十億円、長期計画で二百七十億円、三施設合計で五百九十三億円となり、今後詳細な財政計画を策定するとの報告がありました。

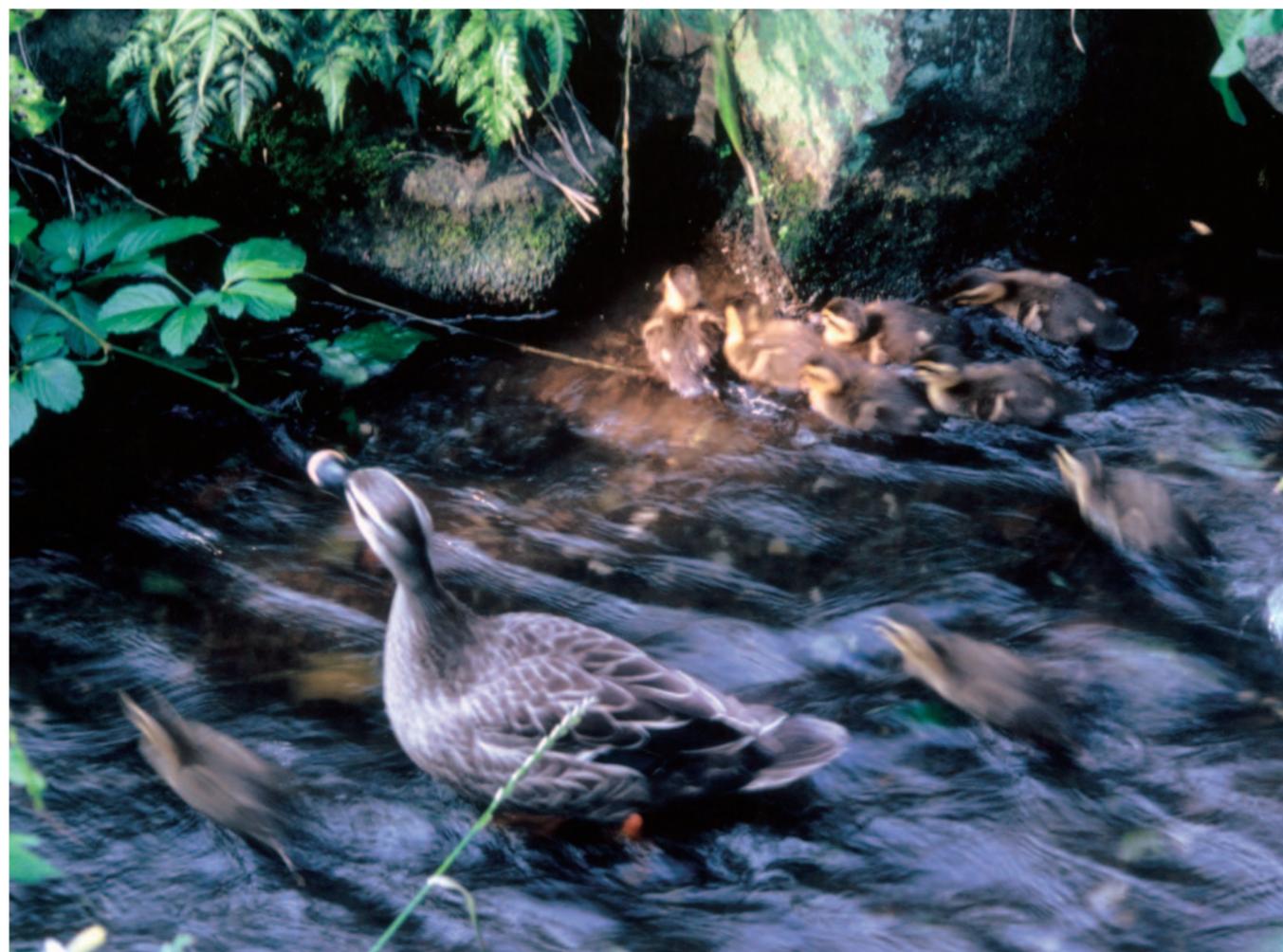


Photo Gallery

フォトギャラリー

市議会だよりは、市民のみなさんからの公募写真を1面に掲載しています。次回の応募要領については、8面をごらんください。



「カルガモの親子、遊泳中」

撮影：長谷川 裕
(武蔵野市在住)

場所：千川上水
(2007.6.21)

夏至の朝、千川の清流の中、子ガモ10羽を引き連れ、水しぶきを上げながら泳いでいる様子に魅せられました。2週間ほど定期的に訪れ、石の上での休養や、親子の対話、時として父ガモもそろった一家団らの情景を楽しむことができました。子ガモたちが無事に巣立ちますように……。

ただ 施政方針を質す

代表質問

「施政方針」は武蔵野市役所のホームページ (<http://www.city.musashino.lg.jp/cms/guide/00/00/72/00007267.html>) でご覧いただけます。また、市役所の市政資料コーナー、各市政センター、各コミュニティセンターで配布しています。

第1回定例会2日目の2月28日、市長の施政方針に対して、6名の会派代表者による代表質問が行われました。以下はその要旨です。

やすえ清治議員 ● 自由民主党クラブ

計画行政の緩みが 市政の信頼を揺るがす



Yasue Seiji

問 施政方針に具体的方向性が示されているとは思えない施策が多く、「検討する」を多用する。計画行政の緩みすら見て取れる。計画行政の甘さは、今後の施策の実効性に影響を与え、市政の信頼を失う恐れがあると指摘するが、市長の考えは。

答 期限を定めて実行すること以上に中身の議論を十分に行うことが重要と考えている。「検討」は、実行のための前向きな姿勢と理解いただきたい。

問 調整計画がまだ策定されないまま、次年度予算案が提示されているのは大きな矛盾である。計画の実効性や予算を審議する議会と執行機関の信頼関係を著しく損なうものと考えるが市長の見解を伺う。

答 調整計画は、第四期基本構想・長期計画を「家庭と生徒をつなぐ重要な要素の一つ」と位置づけている経過を踏まえ、弁当の位置づけを明確にせよ。

問 中学校給食の実施は、弁当選択も可能な形とし、弁当の意義も啓発していきたい。

問 調整計画は、第四期基本構想・長期計画を「家庭と生徒をつなぐ重要な要素の一つ」と位置づけている経過を踏まえ、弁当の位置づけを明確にせよ。

答 調整計画は、第四期基本構想・長期計画を「家庭と生徒をつなぐ重要な要素の一つ」と位置づけている経過を踏まえ、弁当の位置づけを明確にせよ。

問 吉祥寺駅南北自由通路の整備について、整備計画や全体像がほとんど示されていない。調査費など税金を投入する以上、計画内容を明確にするべきではないか。

答 回遊性のある駅空間、幅広い南北通路を要望しているが、計画案は、駅舎を所有するJR東日本と京王電鉄が連携して検討中である。協議が整いつつあり、速やかに具体案を公表するよう強く要望したい。

問 吉祥寺のまちづくりについては、駅舎改修に伴う南北自由通路の整備や南口の再開発、南口暫定広場の整備、公会堂の建てかえ、商業ビルの更新、北口周辺の地下計画等、多くの課題がある。それぞれの課題を個別に解決するのではなく、全体を視野に入れた構想を練り、市長が前に出てまちづくりを推進していく必要があると考えるが、見解は。

答 これまでも奥多摩やハバロフスクでの植林の実績があるが、市内でふやせない分の緑を他の自治体でふやす取り組み等も検討していきたい。

川名ゆうじ議員 ● 民主党・無所属クラブ

温室効果ガス削減のため、具体的な取り組みを



Kawana Yuuji

問 温室効果ガス削減のため、市として具体的な目標数値を掲げ、市民と協働して運動すべきではないか。

答 市役所だけでなく、市民や事業所も含めた取り組みが必要であり、環境市民会議で

問 協働は新たな公共を担う重要な手法と考えるが、事業の方向性を見失わないよう、協働の目的を明確にするべきではないか。

答 市役所だけでなく、市民や事業所も含めた取り組みが必要であり、環境市民会議で

問 市役所だけでなく、市民や事業所も含めた取り組みが必要であり、環境市民会議で

問 市役所だけでなく、市民や事業所も含めた取り組みが必要であり、環境市民会議で

答 市役所だけでなく、市民や事業所も含めた取り組みが必要であり、環境市民会議で

問 市役所だけでなく、市民や事業所も含めた取り組みが必要であり、環境市民会議で

答 市役所だけでなく、市民や事業所も含めた取り組みが必要であり、環境市民会議で

問 市役所だけでなく、市民や事業所も含めた取り組みが必要であり、環境市民会議で

答 市役所だけでなく、市民や事業所も含めた取り組みが必要であり、環境市民会議で

桑津昇太郎議員 ● 市議会市民クラブ

大きな視点で吉祥寺のまちづくりの推進を



Kuwazu Shoutaro

問 市政を運営するうえで、経営の視点が重要であると考えられるが、施政方針の中に「経営」という言葉の記述がないことについて、市長の見解は。

答 経営の視点の重要性は認識している。歳入の確保に努め、事務事業の見直しに当たっても経営的感覚を重視して、今後の市政運営に臨みたい。

問 市長は持続可能な環境共生都市を目指すとしているが、市内での取り組みに加え、自然環境の残る友好都市と一体となつて、温暖化対策等を進めていく考えはないか。

答 これまでも奥多摩やハバロフスクでの植林の実績があるが、市内でふやせない分の緑を他の自治体でふやす取り組み等も検討していきたい。



市長の計画行政についての認識を伺う

田辺あき子議員 ●市議会公明党



Tanabe Akiko

問 第四期長期計画・調整計画について、①平成二十年

度施政方針の後に、その上位計画である調整計画の内容が示されることについて、市長の計画行政への認識を伺う②調整計画が一年前倒しになった

ことで、議決事項である基本構想の期間も変更になるが、どのような手続きを取るのか③今後も今回同様の市民参加型の策定方式を取るのか

答 ①計画の策定が遅れたが、策定委員会の議論を念頭に置きながら、施政方針を立てている②今期基本構想の変更はないが、次期については策定時に開始を前倒しするかどうか議論してもらおう③基本的に今回の方式を継承したい。

問 市長の目指す「高福祉」の基本的な考え方を伺う。

答 従来の「良福祉・中負担」を継承しつつ、さらに質の高い福祉を目指すという意味で、高福祉高負担を目指すものではない。

問 今後全市で実施する災害時要援護者避難支援事業について、支援者としてのどのような方々を想定しているか。

答 各種団体だけではなく、なるべく多くの人に支援者となってもらえるようにPRしていきたい。

問 地域を支えている各種団体の活動地域の単位はそれぞれ異なっているが、円滑な活動のためには見直しを行う必要があるのではないか。

答 これまでの活動の中で形成されたもので、一斉の見直しは難しいが、今後検討していきたい。

問 武蔵野市の中学校給食について、①どういった視点を重視して導入するのか②弁当の意義について見解を伺う。

答 ①義務教育課程において、健康づくり及び食育という視点で実行すべきと考える②弁当の意義も認識しているので、選択方式を採用する。このほか、行財政運営についての質問がありました。



山本あつし議員 ●市民の党

各分野が連携した、環境とまちづくりの計画策定が必要



Yamamoto Atsushi

問 都市マスタープランや環境基本計画、緑の基本計画、

下水道総合計画など、さまざまな計画が策定されているが、それぞれが連動しておらず、目標の実効性が弱い。緑被率など目標値があるものは、それが実現する計画を策定すべ

きで、その他の計画も具体的な目標と方針を定めるなど、環境とまちづくりの問題を一つに考えていくべきではないか。

答 計画をうまくつなげる役割は市長にあると考える。今後、連携を視野に入れた計画の策定方法を検討する。

問 生活保護対象者ぎりぎりの生活をしている市民の生活実態の把握など、福祉サービスを受ける市民の立場に立った「支えられ感」のある政策を考えるべきではないか。

答 実態を数値で把握するのは難しい面もあるが、受け手側の意見を聞く場をふやすなど、工夫したい。

橋本しげき議員 ●日本共産党武蔵野市議団

負担増問題今こそ市民の暮らしを守る自治体の役割を發揮すべき



Hashimoto Shigeki

問 福田首相は施政方針で、

海外派兵ができる恒久法の検討を表明したが、これに反対し、憲法第九条の大切さを一層訴えていくべきと考えるが、平和を推進していく憲法の、極めて根幹的な理念が凝

縮されている第九条を大切にすべきと考えている。

問 地球温暖化対策として、本市の環境基本計画を、温暖化ガスを削減する、より効果的なものに改定し、削減目標を六%よりも踏み込んだものにすべきではないか。

答 改定にあたっては、裏づけのあるわかりやすい数値目標を検討する。

問 市民の暮らしと自治体の役割の認識を伺う。

答 暮らしを守るため行政サービス

は難しい面もあるが、受け手側の意見を聞く場をふやすなど、工夫したい。

問 商店街の売上高や来客数、その動向等、市内の経済の状況や雇用の実態を把握する努力をすべきではないか。

答 いかんして現状を把握するかを今後研究していきたい。

問 近隣三市と設置している四市行政連絡協議会は、一定の経済規模となるため、経済や環境の分野等で、武蔵野市単独では対応が難しい共通の課題を考

えるべきではないか。

答 実態を数値で把握するのは難しい面もあるが、受け手側の意見を聞く場をふやすなど、工夫したい。

問 健康福祉総合計画の策定に向けた実態調査の対象に、介護事業者やヘルパー等を加えられないか。また、事業者への運営費補助増額等を求める。

答 実態把握に努めていきたい。直接的な運営費補助は難しいが、間接的支援はしていきたい。

問 眼科検診が五百円と有料化されるが、今後の健診を有料化しないことを求める。

答 眼科検診以外は当面有料化をしない予定である。

場原理にゆだねることを見直す流れとなっている。政府や自治体の役割は資本主義をなぞることではなく、そこから人の生活をどのように守ることだと考えるのがいいか。

答 なかなか難しい面もあるが、市場原理にゆだねることも考えなくてはならない。従来の行政手法だけではなく、多岐にわたる社会的な動きを視野に入れ挑戦したい。



市長が2月26日の本会議で行った「施政方針」の要旨です。

市長の施政方針 市民の笑顔を未来へとつなげるまちづくりを目指して



邑上守正市長 Murakami Morimasa

多くの先人の英知と工夫によって築かれた、武蔵野市の伝統と誇りを未来へつなげ、笑顔あふれる平和で文化的な都市へと発展させていきたい。

平成20年度は、市民参加を重視して策定を進めた第四期長期計画・調整計画の初年度となる。調整計画を念頭に、市政運営にあたっては、次の方針を柱とする。

- ① 協働による市民自治を目指す
市民自治を目指し、意見や要望を中心とした要求型市民参加から、計画づくりや事業の協働作業へ発展する政策提案型市民参加を求めていく。また、市民団体、NPO等との協働の取り組みを一層進める。
- ② 安心して暮らし続けられるまちを目指す
制度のすきまを補完するきめ細かな福祉サービスや保育サービス、教育環境の充実を図る。また、

防災安全センターの機能の充実を図り、市民・関係機関との協働により防犯力や防災力を強化し、安全安心なまちづくりを推進する。

- ③ 持続可能な環境共生都市を目指す
環境基本計画に沿って、省エネや緑化の取り組みを強化するとともに、農業・農地の保全に努める。また、自転車の安全利用の総合的な推進、公共施設等の再整備に取り組む。
- ④ 活力と魅力あふれる都市を目指す
武蔵野は、高架化完成後に南北一体となったまちとなるよう、地域と協働で、回遊動線の確保、駅前広場の整備を進める。三鷹駅北口は大規模なビル建設が進んでいるが、緑豊かで魅力ある駅前地区の整備に取り組む。吉祥寺地区では、地下利用や交通機能の充実、ランドデザイン委員会で示された将来像の

実現を目指す。

- ⑤ 文化・コミュニティ—豊かな都市を目指す—
地域住民の関わり方など、これからの時代にふさわしいコミュニティのあり方を研究する。また、生涯学習・文化施設相互のネットワークを強化し、知的文化の創造を推進する。
- ⑥ 健全な行財政運営を進める
今後、税収増加を期待できない状況の中、より堅実な財政計画を立て、健全な財政運営に努める。また、事務事業・補助金の見直しを行う。

主要な施策

- ① 地域での暮らしを支える福祉の充実(健康福祉総合計画(仮称)の策定、認知症見守り支援事業等)
- ② 子育てしやすい環境の充実(認可保育所等の誘

- 致、中学校給食の開始、冒険遊び場公園の開設等)
- ③ 持続可能な環境共生都市づくり(公園緑地・仙川水辺環境整備等)
- ④ 活力ある都市の再生(吉祥寺ダイヤ街アーケードのリニューアル、観光推進機構(仮称)の設立)
- ⑤ 安全・安心なまちづくり(ホワイトイールのパトロール時間延長、吉祥寺北町周辺透水性舗装工事の施工等)
- ⑥ 市民文化の創造に向けて(スポーツ振興計画(仮称)の策定、武蔵野プレイス(仮称)の着工等)
- ⑦ 新たなまちづくりの時代へ(まちづくり条例(仮称)の制定、吉祥寺駅南北自由通道の整備等)
- ⑧ 都市のリニューアルの推進(上下水道施設等再整備の検討、自転車駐車場の立体化等)
- ⑨ 市民との協働の時代へ(コミュニティ市民委員会の設置、自治体運営の基本的なルールの検討等)
- ⑩ 健全な財政運営と市役所改革の推進(補助金評価委員会(仮称)の設置、住民票等の自動交付機の設置等)

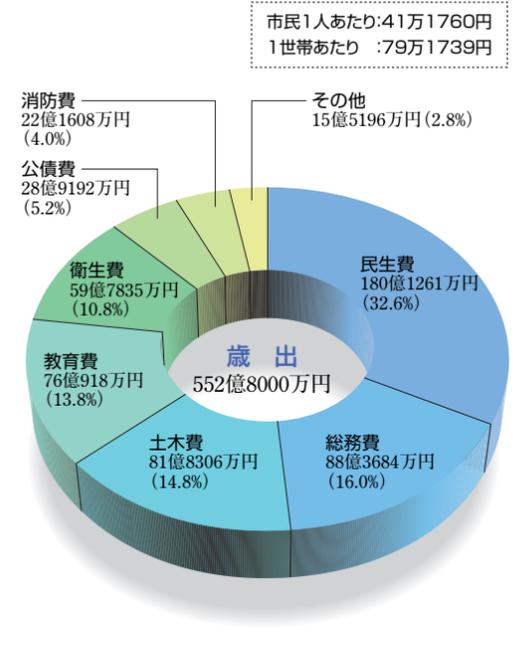
査 概 要

予算特別委員会は3月3日、委員12名からなる予算特別委員会を設置し、同月14日、正副委員長を選出し、3月14日から24日までの5日間審査を行いました。一般会計は、552億8000万円で、前年度比16億7000万円(2.9%)の減額となりました。歳入の根幹をなす市税収入は、法人市民税は景気の減速等により7億5410万円の減額、個人市民税は老年者非課税制度の廃止などの税制改正の影響額や、大型マンション完成に伴う転入者の増加などから1億9160万円の増額を見込み、全体で前年度比1.1%、4億150万円の減少を見込んでいます。

今年度予算は、第四期長期計画・調整計画を念頭に、武蔵野プレイス(仮称)建設事業や中学校給食の実施など、緊急に取り組むべき事業や長期的な視野で取り組むべき事業を着実に進めるため、限られた財源を重点的に配分することを基本とし、「市民とともに活力あるまちづくりへつなぐ予算」と位置付けられています。

以下は各委員から予算執行と行政運営について、活発な議論が行われた予算特別委員会の審査概要です。

歳出予算の目的別内訳



主要な事業

(単位:千円)

■一般会計

◆総務費	
・指定管理者の施設管理に対するモニタリング調査の実施	5,145
・行政評価制度の再構築	10,000
・非核都市宣言平和事業	315
・第6期コミュニティ市民委員会の設置	7,925
・市民協働サロンの管理・運営委託	5,880
・第二次男女共同参画計画の策定	4,606
・中高年齢者・障害者の雇用創出	616,703
・補助金評価委員会(仮称)の設置	3,111
・コンビニ収納の実施	3,741
・自動交付機の設置等による窓口サービスの向上	67,095
・境目遊遊び場公園(プレーパーク)の開設	9,853
◆民生費	
・健康福祉総合計画(仮称)の策定	18,988
・被保護世帯擁護事業	3,212,457
・都営武蔵野アパート建替えに伴う障害者施設の建設	68,666
・障害者通所施設家賃補助事業	11,394
・障害者・自立支援給付事業	1,102,541
・認可外保育施設助成事業	437,426
・認可外保育施設入所児童保育助成金の引き上げ	57,920
◆衛生費	
・落書き消去事業	2,400
・塵芥処理事業(収集委託)	1,080,231
・クリーンセンター施設改修等工事	567,000
・健康診査・特定保健指導	858,945
◆農業費	
・生産緑地保全整備事業補助	9,000
◆商工費	
・ダイヤ街アーケードリニューアル補助事業	95,000
・小規模企業者への補助事業	80,049
◆土木費	
・まちづくり条例の制定	3,898
・景観計画の策定	4,320
・鉄道連続立体交差事業	295,095
・都市計画道路3・3・14号線(南口駅前広場)事業	100,000
・吉祥寺駅南北自由通路整備計画	14,000
・河原さ対策協議会運営支援	2,000
・吉祥寺駅周辺地下利用検討調査	10,000
・武蔵境駅南自転車駐車場立体化建設工事	70,000
・(仮称)吉祥寺駅大正通り北自転車駐車場建設工事	78,000
・自転車安全利用促進に伴う講習会等の実施	12,000
・民間住宅耐震改修助成事業	16,500
・民間住宅耐震診断助成事業	8,400
・市営西久保住宅建替事業	264,179
・安全・賑わいのまちづくり促進型耐震助成	10,700
・公園等建設事業	1,813,618
◆教育費	
・学校教育のあり方専門家会議(仮称)の設置	12,847
・桜野小学校校舎等増築工事	58,407
・小中学校耐震補強事業	784,117
・学校緑化支援事業	9,171
・学校図書書の充実	17,202
・小学校高学年における理科専科教員の配置	4,560
・図書室サポーターの配置の拡大	12,870
・チャレンジルーム(適応指導教室)の拡充	17,498
・特別支援教室モデル事業	3,691
・スポーツ振興計画(仮称)の策定	8,428
・緑町スポーツ広場(仮称)の設置	44,000
・武蔵野プレイス(仮称)建設事業	437,071
・学校給食共同調理場耐震補強工事	195,859
・食物アレルギー対応給食の実施	7,156
・図書館業務のICシステム導入	93,416
・中学校給食の実施	134,604
◆後期高齢者医療会計	
・後期高齢者医療会計の設置	2,586,510

総括

クリーンセンター建てかえ 基金の積み立てを含め、財政計画の早急な立案を

問 クリーンセンターの建てかえについては、基金を積み立てるべきではないか。

答 上下水道施設の更新、学校施設の整備等ともあわせて、今後、財政計画を検討していく。

問 第四期長期計画・調整計画で数多く使われている「協働」の考え方を伺う。

答 市民自治を目指す過程で、市政に意見をいただくだけでなく、実際の事業に力を出していただくことを協働と考える。

問 市長は市民参加のあり方の共通ルールを検討するとしているが、どのように行うのか。

答 今後さまざまなやり方を試行しながら方法を確立したい。

問 予算編成過程を市民に公開する予定はないか。

答 予算編成の情報は不確定要素が多いため、公開は難しいと考える。今後、よく研究したい。

問 正規職員が減り、嘱託職員等がふえているが、このことが一連の業務上のミスにつながっているのではないか。

答 この間のトラブルは、正規職員の減が要因とは考えていないが、職員のバランスについては、今後よく検討したい。

問 庁内組織である行財政改革推進本部のみで見直すのか。

答 事務事業・補助金見直し委員会の指摘を参考に、内部でしっかりと検討していきたい。

問 庁内の紙消費削減のため、IT化の推進を明確にしていきたいと考えているかが。

答 基本的にはその方向だが、庁内の事務処理方法をIT化するためには、まだ技術的にさまざまな工夫が必要である。

問 ルーミアニア ブラシヨフ市との交流事業は、費用がかかりすぎているのではないか。

答 ブラシヨフ市側に日本武蔵野センターの家賃を一部負担していただくよう交渉中である。

問 第六期コミュニティ市民委員会では、活動の拡大や団塊世代の対応など、ソフト面での抜本的な検討が必要ではないか。

答 ソフト面の検討を中心に、エリア等も含めたハード面を見直したい。団塊世代はコミュニケーション活動の大きな力となるため、活性化の一助としたい。

問 子育てSOS支援センターの人員体制は十分か。

答 相談件数が増え、困難事例もあるため、今年度、相談員を一名増員する予定だ。

問 保育園民営化の検討はしていくのか。

答 民営化を前提とするのではなく、公立保育園の役割を明らかにした上で、行財政改革推進本部で検討する。

問 者に対して、本市でも国、都、NPOなどと連携し、積極的に就労支援を行うべきではないか。

答 市の行う就労支援は高齢者、障害者に対するものが中心だが、若者の就労支援策として、ハローワークと連携し、市内中小企業と市民の就職説明会を検討している。

問 ハートランド富士見事業を、市としてどう評価するか。また、今後、コミュニティスタジオ事業をどう発展させるのか。

答 商店会の結束が強くなったと感じるが、他の地域コミュニティとの連携や、商店会、商店会連合会と市の費用負担の割合が課題であると考えられる。今後も空き店舗利用が可能であり、設置に意欲のある商店会には、積極的に支援していきたい。

問 広告料収入など新たな歳入の確保を

問 今後、新たな歳入を確保するため、広告料収入や国、都からの補助金の獲得を積極的に検討すべきではないか。

答 バナー広告については、平成二十年より掲載を開始する。それ以外にも、広告料収入として適当なものがあるか研究していく。補助金については、国や都の補助制度が変更、新設されるときに、本市の事業と合致するかを検討し、積極的に獲得に努める。

問 認知症高齢者支援事業の拡大について、内容を伺う。

答 家族にかわり、認知症高齢者の話し相手や外出時の見守りを行う。平成二十年度は、面接相談を月一回から二回にふやす。

問 レモンキャブの利用者数が減少しているのはなぜか。

答 利用者は年間一万五千人以上で、微減とはいえず、かなり多い。需要が一定程度充足しているためと考える。

問 新規事業の障害者通所施設家賃補助事業の目的と内容は。

答 安定的運営による質の向上を図るとともに、通所施設の市民枠を確保するため、市内通所施設に対し、市民を一人受け入れるごとに月九千円を補助する。

問 耐震改修が必要な民間住宅に対する耐震診断の実施状況は。

答 実施件数はわずかであり、平成二十年度は民間住宅耐震診断助成制度の助成額、助成対象を拡大し、利用を促進する。

問 吉祥寺の荷さばき対策について、現在の状況を伺う。

答 これまでの議論を踏まえ、平成二十年度は、関係者による自立的な協議会を設置したい。

問 吉祥寺駅周辺地下利用検討事業について、今後の計画は。

答 現況調査を踏まえ、平成二十年年度にコスト面を含めた検討を行い、実現に向けた政策判断に必要な基本計画を策定したい。

問 まちづくり条例制定の前に、市民、行政、事業者の中心となる中間組織をつくるべきでは。

答 行政と中間組織との役割分担に明確でない部分があるため、まずは条例施行の後、二年程度で経験を生かして組織したい。

歳入

民生費

問 事務事業の見直しについて、

問 子育てSOS支援センターの人員体制は十分か。

問 若者への就労支援策を

問 耐震改修が必要な民間住宅に対する耐震診断の実施状況は。

問 庁内組織だけで事務事業を見直せるのか

問 認知症高齢者支援事業の拡大について、内容を伺う。

問 新規事業の障害者通所施設家賃補助事業の目的と内容は。

問 耐震改修が必要な民間住宅に対する耐震診断の実施状況は。

問 事務事業の見直しについて、

問 子育てSOS支援センターの人員体制は十分か。

問 若者への就労支援策を

問 耐震改修が必要な民間住宅に対する耐震診断の実施状況は。

問 庁内組織だけで事務事業を見直せるのか

問 認知症高齢者支援事業の拡大について、内容を伺う。

問 新規事業の障害者通所施設家賃補助事業の目的と内容は。

問 耐震改修が必要な民間住宅に対する耐震診断の実施状況は。

総務費

問 事務事業の見直しについて、

問 子育てSOS支援センターの人員体制は十分か。

問 若者への就労支援策を

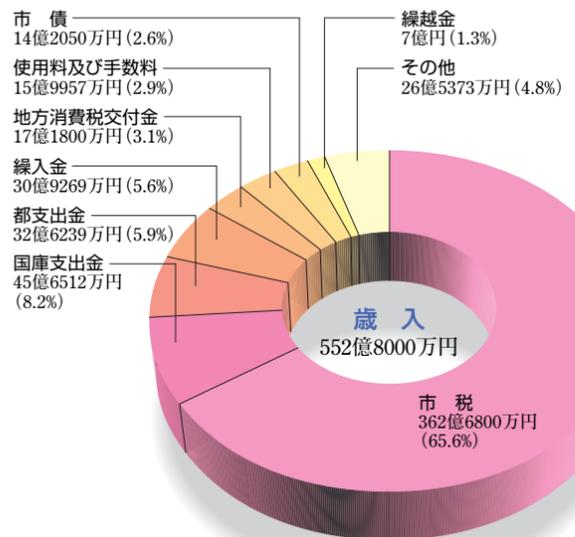
問 耐震改修が必要な民間住宅に対する耐震診断の実施状況は。



予算特別委員会の審査風景

予算特別委員会 審

一般会計歳入予算の内訳および



きくち 太郎 予算特別委員長

審査した特別委員

平成20年度予算審査に当たった特別委員の氏名は、次のとおり。

- ◎きくち太郎
 - 内山さとこ
 - やすえ清治
 - 梶 雅子
 - 川名ゆうじ
 - 桑津昇太郎
 - 土屋美恵子
 - 落合 勝利
 - 小野 正二
 - 深田貴美子
 - 石井 一徳
 - 山本あつし
- ◎印 委員長 ○印 副委員長

消防費

消防署の建てかえ計画は

問 防災備蓄倉庫にはテントを備えておくべきではないか。

答 屋内用パーソナルテントの導入を前向きに検討したい。

問 老朽化の進んだ消防署の建てかえ計画を伺う。

答 境出張所については現在、用地の確保に向けて交渉中である。本署についてもなるべく早く用地を準備したいと考えている。

問 災害対策において、市が今後一層取り組むべき課題は何か。

答 火災、飲み水、トイレのほか、地域の防災態勢についても特に重要な課題と認識している。

教育費

中学校給食は市長の公約 実施に当たりきちんとした説明を

問 学校教育のあり方専門家会議の設置に当たり、学習環境等の格差という視点を盛り込んでいただきたいが考えを伺う。

答 本市では、児童一人一人の習熟度にあつた指導をすすめて行っており、それを踏まえて検討したい。

問 学校裁量予算編成の成果は。

答 平成十九年度は試行として四校で実施したが、学校が予算というものに関心を持って経営できたことや、予算の透明化が図られたことが挙げられる。

問 校舎改修の優先順位はどの

各特別会計

国や都に現場からの意見を

〔後期高齢者医療会計〕

問 後期高齢者医療制度は、まだ不備や課題が多いと感じる。今後、現場からの意見を国や都に上げていくことが重要と考えるが、見解を伺う。

答 制度を運用する中で出てくる課題については、国や都に対して、制度の改善、見直しなど積極的に意見をを出していきたい。

〔水道事業会計〕

問 水道施設再整備の財政計画の策定にあたり、一般会計からの繰り入れも検討すべきと考えるが見解は。

答 法的には市から長期借り入れなどが可能だが、公営企業としての立場を考えた上で、今後協議をしていく。

問 各決めているのか。

答 各校からの概算予算要求により決定しているが、トイレ改修など大規模なものは施設課の保全計画に基づいて行っている。

問 桜野小の増築は約十億円と多額の投資となる事業である。増築する以外の方法はないのか。

答 学区の変更など別の方法も検討したが、きちんとした校舎で、子どもの均等な教育環境を維持するためには増築が必要と判断した。

問 市民大運動会は平成二十年度も実施する予定か。

答 健康の増進や他地域との交流を目的に行っているが、地区実行委員に行つたアンケートの意見を踏まえ、実施について早急に結論を出したい。

問 中学校給食実施にあたり、運営方法やコストなどは、中学校給食実施計画策定委員会の中で結論を出すべきではないか。

答 具体的な金額をあげた議論はしていないが、運営などの方向性の議論は行っている。できるだけ早い段階で示したい。

3月27日の本会議で予算に対する各会派の賛否の討論が行われました。以下はその要旨です。このほかに、会派に属さない砂川議員の全ての予算に賛成する討論もありました。なお、各会派の構成を8面に掲載しております。予算特別委員会の詳しい内容を、会議録またはインターネット議会中継(アドレスを8面に掲載)でご覧いただけます。また、会議録は5月下旬以降、各市立図書館、コミュニティセンター、市役所の市政資料コーナーにおいて閲覧することができます。

予算に対する各会派の討論

- ① 平成20年度武蔵野市一般会計予算
- ② 平成20年度武蔵野市下水道事業会計予算
- ③ 平成20年度武蔵野市国民健康保険事業会計予算
- ④ 平成20年度武蔵野市老人保健(医療)会計予算
- ⑤ 平成20年度武蔵野市後期高齢者医療会計予算
- ⑥ 平成20年度武蔵野市介護保険事業会計予算
- ⑦ 平成20年度武蔵野市水道事業会計予算

市民の党

まちづくりに、「環境・福祉・協働」の新たな視点を

山本あつし議員

1 2 3 4 5 6 7 賛成

まちづくりのあり方は、大きな転換期を迎えている。都市計画の分野に環境・福祉・協働の視点を取り入れ、市全体で、本格的に取り組んでほしい。福祉施策は、市民を支えようとするきめ細かな努力を評価する。市民が信頼感を持ち、将来を託せる自治体を目指してほしい。また、公教育は、子どもの多様性を尊重するという明快な方向性を示したことを評価する。しかし、全体的に財政の見通しが不十分だ。長期的な財政見込みをいかに明確に示していくかが大きな課題である。

日本共産党武蔵野市議団

暮らしを守り平和を発信する市政として前進

梶雅子議員

1 2 4 5 6 7 賛成 3 退席

今回の予算は、中学校給食の実施、認可外保育施設入所者の保護者への助成の増額を初めとした子育て支援の前進、障害者の通所施設への家賃補助をすることなど市民の暮らしを守る施策の前進、温暖化対策や安全なまちづくりの推進、平和事業を市民参加で推進することなど、大きく評価できる。一方、今回の国民健康保険税の限度額の引き上げは、中堅所得層には増税となり、国民健康保険事業会計には賛成できない。

市議会公明党

情報の共有と、綿密な計画性をもった予算執行を望む

小野正二議員

1 2 3 4 5 6 7 賛成

福祉サービスの充実に向けた取り組みや、安心・安全な市民生活につながる施策の拡充など、概ね評価できる予算となっている。しかし、桜野小学校増築工事、中学校給食の審査において、議会を含めた各部署間の連携と情報共有に問題が見られた点は大変遺憾であった。付帯決議を重く受け止め、市政全般にわたる市長のリーダーシップと市政のあり方、計画と運営の方向性について抜本的な問題解決を望むものである。市民のための予算執行を真に願う。

市議会市民クラブ

強いリーダーシップを発揮し、議会の信頼を得る努力を

桑津昇太郎議員

1 2 3 4 5 6 7 賛成

予算には賛成するが、予算審査中の市長答弁に事業推進の指針が明確でないこと、市の経営効率向上を図る取り組みが見受けられないこと、中学校給食や桜野小学校校舎増築等重要事業の開始に際し、市を挙げて全力で取り組んでいるようには見えず、市議会への対応にも問題があったこと、市長交際費の額の設定や考え方について説得力がないことなどは問題と考える。市長は議会や職員との信のある関係をよく考え、市政の経営・運営に当たって欲しい。

民主党・無所属クラブ

市政の効率化を図るための行政評価、補助金見直しを評価

川名ゆうじ議員

1 2 3 4 5 6 7 賛成

行政評価や補助金の見直しが行われ、市政経営に変革が期待されること、市民生活に直結する民生費、衛生費に手厚く算定していること、市の未来への投資である教育費に伸びがあることは高く評価する。一方、予算枠配分方式の活用への取り組み、市役所改革の推進について今後、理念や方向性をより明確に示すべきと指摘する。予算を適正に執行し、目標に向かってさらなる努力を期待し、賛成討論とする。

自由民主クラブ

市長自らの信念と市政の方向性を明らかにし、計画的な行政運営を

やすえ清治議員

1 2 3 4 5 6 7 賛成

予算特別委員会で、市長の施策に対する理念が感じられなかったこと、調整計画にあいまいな記述が多く、方向性や公の役割が不明瞭であった点を指摘する。今後の市政運営にあたっては、「何を、なぜ、どこまで、いつまでに、どのくらい」の予算で行うのか」考え方を明確に示すことを強く求める。予算には賛成するが、財政計画ができていない中学校給食や水道事業等、課題が大きい。しっかりと計画と公の責任をもって取り組むことを要望する。

一般質問

第1回定例会では2月29日、3月3日に、10名の議員から一般質問が行われました。この中から主な質問と答弁を要約して掲載します。

詳しくは、5月下旬発行予定の会議録(各市立図書館、各コミュニティセンター、市役所の市政資料コーナーで閲覧可能です)、または武蔵野市議会ホームページの会議録検索(第1回定例会分は5月23日登録予定)、インターネット議会中継(アクセス手順は8面左下に掲載しています)でご覧いただけます。

※一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長を初めとする執行機関に対し、事務の状況や将来に対する方針等について、質問をしたり、説明や報告を求めたりすることをいいます。



● 3月19日、市政施行60周年記念事業「空から見る武蔵野」として、市役所1階ロビー床に武蔵野市の航空写真が設置されました。

環境等によい 自転車利用の推進を

深沢達也議員

- 問 現在行っている吉祥寺駅北口地下空間活用調査について、進捗状況を伺う。
- 答 平成18年度の調査を受け、自転車、自動車、荷さばきを中心に、どのような地下利用が可能か、具体的な検証を進めているところだ。
- 問 放置自転車の業務委託の状況を伺う。
- 答 放置自転車は各駅の前年度比で30%以上の減少が見られ、成果が出ている。
- 問 環境によく、健康的、安価に移動できる自転車利用の立場から、自転車専用道の設置について進捗状況を伺う。
- 答 快適かつ安全に自転車を利用できるように、自転車レーン等の走行環境について整備を検討し、進めていきたい。

安心して子育てできる 施策の充実を

土屋美恵子議員

- 問 本宿小、五小、井之頭小、境南小学童クラブの校内等移転の進捗状況を伺う。
- 答 現状では各校とも空きスペースはなく、校舎だけでなく敷地も含めて研究したい。
- 問 障害を持つ5、6年生児童の学童クラブ受け入れ対応について考えを伺う。
- 答 5、6年生は体も成長し、1年生とのかかわりも難しく、受け入れは困難だ。
- 問 私立小学校、国立小学校、養護学校等の児童を学童クラブに受け入れる考えは。
- 答 他市の受け入れ状況を調査し、受け入れの可能性を今後、研究していきたい。
このほか、保育園入所状況及び待機児童対策等についての質問がありました。

市民の命を預かる災害時 危機管理体制の現状は

深田貴美子議員

- 問 地震など、予測不能な災害発生時における、いっとき集合場所などに対する耐震補強などの整備状況について伺う。
- 答 地域防災計画では、いっとき集合場所として20カ所を指定している。昭和60年前後に一部施設の補強を行っているが、新耐震基準で再診断した結果、再補強が必要となり、順次補強工事を実施していく予定だ。
- 問 水害など災害接近時の避難指示、避難準備情報発令等のガイドラインの内容は。
- 答 大雨警報が発令され、危険性がある場合、固定系無線、防災行政無線、FMむさしによる広報を行う。また、職員による警戒区域でのパトロールなどの対応を取る。

いまだ不透明な後期高齢者医療制度 不安から高齢者を守る仕組みづくりを

梶 雅子議員

- 問 後期高齢者医療制度の導入に不安を持つ高齢者に対して、①制度の周知徹底②医療を受けられない医療難民を出さないための支援の仕組みづくりを求める。
- 答 ①出前講座、説明会の機会をふやすとともに、個々の不安にきめ細かに対応したい②医療機関等と連携して支援を行うため、地域医療ネットワークの構築について、現在、医師会や関係機関と協議中である。
- 問 後期高齢者医療広域連合に、保険料の減免措置や激変緩和策の延長を強く求めよ。
- 答 必要があれば申し入れをしていきたい。
このほか、自転車の安全利用のための道路整備等についての質問がありました。

長年の議論を踏まえ、 美術館構想の新たな展開を

田中節男議員

- 問 本市の美術館建設への歩みは、紆余曲折を経て吉祥寺美術館開館に至ったが、多数の寄贈作品を生かすためにも、次のステップが必要と考える。市長の方針を伺う。
- 答 大きな美術館をほかにつくる考えはないが、民間を含め、市内のさまざまなスペースで作品を展示する方法を研究したい。
- 問 市民会館の役割について、武蔵野プレイス(仮称)との機能重複の議論やコミュニティセンターとしての利用の要望も踏まえ、社会教育団体と早急な協議が必要では。
- 答 関係者との協議を具体的に進め、プレイスに移行できる機能を慎重に検討し、市民会館の役割、位置づけを明確にしたい。

だれもが安全にいち早く 避難できる避難誘導標識 の早期設置を求める

小野正二議員

- 問 大規模災害時の初動対応において、避難対策は極めて重要な課題であり、そのために避難誘導標識の早期設置を求めるが、現在の検討状況を伺う。
- 答 設置場所、位置、形状、寸法、表示情報、設置の仕方、その他の情報提供方法等について検討を行っている。
- 問 吉祥寺駅周辺等、来街者の多い地域の災害時避難対策が必要と考えるが、見解は。
- 答 今後、駅周辺混乱防止対策協議会を設置し、地域の方や事業者とも協議しながら、電光掲示や放送による誘導、地図による情報提供など、総合的な対策を検討していきたい。

高齢者等の急病時の 夜間・深夜対応改善を

齊藤シンイチ議員

- 問 ひとり暮らしの高齢者や障害者等が救急治療を受け、入院せず夜間に帰宅する際、適切な対応を受けられないことについて、①病院と市内の在宅介護支援センターや地域生活支援センター等が連携することで、対応を改善できないか②この問題について市内でどの部署が対応するのか。
- 答 ①医療、福祉、地域の具体的連携体制の構築について、地域リハビリテーション有識者会議からの提言を踏まえ、医師会等と協議したい②同提言を待って考えたい。
このほか、福祉施設職員や介護福祉士等の定着率向上のため、再教育や講習を実施することについての質問がありました。

環境問題に対する 本市の取り組みを問う

落合勝利議員

- 問 2002年に国連で採択された、2005年からの10年間にわたる「持続可能な開発のための教育」について、①環境問題における本市での取り組みは、どのように進められているのか②その効果や課題、今後の見通しについてどう考えるか。
- 答 ①環境基本計画にもとづき、各分野で事業を展開している。今後とも事業者や市民に対して強く働きかけていきたい②単発的な事業が多いため、今後は継続的・総合的な事業を推進していきたい。
このほか、学校支援地域本部事業、学校支援ボランティア推進の動きについての質問がありました。



● 4月5日、境3丁目に「境冒険遊び場公園」が開園し、記念の植樹式などが行われました。



● 4月6日、第16回武蔵野桜まつりが行われ、会場には多数の来場者が詰めかけました。

ごみ減量と、市民の政策提案をサポートする仕組みについて

砂川なおみ議員

問 ごみの減量を進めるために、①今後の実行計画を、ごみ減量協議会を中心に策定すべきと考えるが、見解を伺う②広報活動を市民との協働で行う考えはあるか。

答 ①協議会を中心に、各種関係団体や若い世代にも参加してもらいながら、具体的な実行計画を策定したい②広く市民に参加してもらえる方法を工夫したい。

問 市民の自主グループが政策提案を行うことに対し、支援を行う考えはあるか。

答 情報の積極的な提供など、市民が政策提案できるような支援を行っていきたい。

このほか、窓口業務、プラumnクスツェレ等についての質問がありました。

※プラumnクスツェレ：有償、無作為抽出による市民参加の手法

環境負荷の少ないごみ処理施設の研究を

きくち太郎議員

問 クリーンセンターの建てかえ時期が迫る中、公的機関、民間研究機関などから幅広く英知を集め、ごみを焼却しないシステム等、環境負荷の少ないごみ処理施設の研究を積極的に行うべきと考えるが見解は。

答 建てかえまで限られた期間ではあるが、全国の最先端技術を持ったごみ処理施設を調査し、安全で効率性の高いものを中心に検討していきたい。

問 プラスチックごみの分別収集を徹底し、再資源化していくべきと考えるが見解は。

答 現在は燃やすごみとして一部焼却しているが、今後、分別が徹底されてくれば、有効利用する方向で検討したい。

ESCO事業の導入事例と東京ガス供給指令センターを視察

平成20年1月21日、横浜市が公共施設の改修にあたり、環境負荷、財政負担の低減を図るために、民間の資金・ノウハウを活用するESCO事業を採用した事例として、障害者スポーツ文化センター、総合リハビリテーションセンター、総合保健医療センターの3施設を視察しました。ESCO事業とは、Energy Service Companyの略称で、工場やビルなどの省エネルギーに関する包括的なサービスを提供し、それまでの環境を低下させることなく省エネルギー化を図り、その効果を保証する事業です。また、都市ガスの製造・供給状況を24時間体制で監視・コントロールする、東京ガス供給指令センターを視察し、地震防災対策等について説明を受けました。



東京ガス供給指令センター

文教委員会で給食を試食

平成20年1月15日、文教委員会では、本市境南小学校を視察し、給食の試食を行いました。境南小学校は、自校方式による給食を実施していますが、この日のメニューは生産者から直接購入した食材を使用したものでした。また、地場産の野菜を使用した給食を実施している国分寺市へも視察に行きJAと生産者の農地を視察しました。



給食の試食
(境南小)



生産者の農地を視察(国分寺市)

友好都市南砺市を訪問

平成20年2月9日、10日の2日間、正副議長を初め、本市市議会議員18名が、友好都市の富山県南砺市を訪問しました。本市と南砺市は、平成19年11月3日、正式に友好都市提携書を取り交わしています。南砺市では、世界遺産である菅沼合掌造り集落のほか、国の重要文化財である村上家、井波彫刻総合会館、城端曳山会館、棟方志功ゆかりの光徳寺、福野・福光片舎などを視察しました。また、9日には「第4回南砺利賀そば祭り」に参加し、南砺市の皆さんとの交流を深めました。そば祭りの会場では、本市の石井一徳議員が、南砺市の宣伝と知名度アップを担う「南砺観光大使」に任命されました。



南砺観光大使委嘱式での石井議員

各常任委員会 行政視察報告

平成19年10月、各常任委員会で下記のとおり行政視察を実施しました。

	日程	視察先	視察内容
総務委員会	10月17日(水)～19日(金)	①宮城県仙台市 ②山形県米沢市 ③茨城県水戸市	①仙台市市民活動サポートセンターについて 「せんだいメディアテーク」について ②米沢市災害時要援護者避難プランについて ③空き店舗対策等商店街再生の取り組みについて
文教委員会	10月17日(水)～19日(金)	①新潟県新潟市 ②新潟県十日町市 ③石川県金沢市	①中学校給食について 「クロスパル新潟」について ②中学校給食・NPOによる給食運営について ③教育プラザ富樫における子育て施策について 21世紀美術館における子どもとのワークショップについて
厚生委員会	10月17日(水)～19日(金)	①岡山県倉敷市 ②香川県香川郡直島町 ③香川県小豆郡土庄町 ④広島県福山市	①小規模多機能ホーム「ぶどうの家」について 資源循環型廃棄物処理施設整備運営事業について ②直島環境センターについて 有価金属リサイクル施設について ③豊島廃棄物処理事業について ④介護施設「サンスクエア沼南」について
建設委員会	10月3日(水)～5日(金)	①宮崎県日向市 ②宮崎県延岡市 ③宮崎県宮崎市 ④宮崎県 ⑤宮崎県宮崎市	①まちづくり100人委員会について(日向市駅鉄道高架下の市民スペースの有効活用についての提言書) 日向市駅鉄道高架下利用と駅周辺地区の景観、まちづくりについて ②都市景観形成について(都市景観賞など)中心市街地活性化について ③大規模建築物等色彩ガイドライン、都市景観条例について ④景観形成基本方針について 都市観光について(地域活性化に関する実施計画、知事の県民に対するPRについて) ⑤「フローランテ宮崎」(市民参加による公園の運営について)

第1回定例会で可決された意見書・決議は2件で、意見書については政府・国会へ提出されました。

文部科学省は、平成二十年度から使用される高等学校用日本史の教科用図書審査する、教科用図書検定調査審議会において、沖縄戦における集団自決の記述について、「沖縄戦の実態について誤解をおそれる表現である」との検定意見を付し、日本軍の関与を削除する修正を行った。これに対し、検定意見の撤回を求める超党派の沖縄県民大会が開かれるなど、抗議行動が行われ、沖縄県議会、及び沖縄県の市町村議会のみならず、多くの自治体議会でもこの問題について、検定撤回の要求、教科書の原記述の回復を求める意見書を採択している。

文部科学省は、訂正申請を受け付け、教科書の文章は修正されることとなったが、「集団自決」については、議論が尽くされていない。

沖縄戦「集団自決」についての教科書検定に関する意見書

政府・国会への意見書

国内唯一の地上戦が行われた沖縄において、県民が筆舌に尽くしがたい境遇におかれ、多くの戦没者、犠牲者が生まれたことについては、紛れもない事実である。

よって武蔵野市議会は、次の事項を要請する。

- 一、国が沖縄戦における「集団自決」の事実を説明すること。
 - 二、教科書において、史実を正しく伝えること。
- (衆議院・参議院議長、内閣総理・総務・文部科学大臣あて)

議案第二十六号平成二十年度武蔵野市一般会計予算に関する付帯決議

中学校給食の審議を踏まえ、今後実施にあたっては市長部局と教育委員会と一致連携を図り、速やかに財政計画を示すよう強く求める。

決議

3月12日、全員協議会が開催され、下記の2件について協議が行われました。

- 全員協議会
- (1) 水道施設の整備計画について
 - (2) 武蔵野市第四期長期計画・調整計画について

会派名簿

会派とは、市政について、同じような考えや意見を持っている議員のグループで、議会活動の1つの基盤となります。*氏名は議席番号順、電話番号は会派控室(市役所7階)の直通電話番号です。議員の連絡先は、わたしの便利帳や市議会ホームページなどで確認していただくか、議会事務局にお問い合わせください。

自由民主クラブ TEL 60-1884 やすえ 清 治 きくち 太 郎 島 崎 義 司 近 藤 和 義 田 中 節 男 井 口 良 美 石 井 一 徳	市議会公明党 TEL 60-1887 落 合 勝 利 小 野 正 二 田 辺 あき子
民主党・無所属クラブ TEL 60-1889 内 山 さとこ 川 名 ゆうじ 深 田 貴美子 松 本 清 治 露 木 正 司 深 沢 達 也	日本共産党武蔵野市議団 TEL 60-1888 橋 本 しげき 梶 雅 子
市議会 市民クラブ TEL 60-1885 桑 津 昇太郎 土 屋 美恵子 寺 山 光一郎 与 座 武	市民の党 TEL 60-1890 山 本 あつし 斉 藤 シンイチ
無会派議員(第7控室) TEL 60-1886 桜 井 和 実	無会派議員(第8控室) TEL 60-1909 砂 川 なおみ

議会だよりへの御意見、御要望をお聞かせください。

TEL 0422-60-1883
 メールアドレス ofc-gikai@city.musashino.lg.jp
 議会事務局 市議会ホームページ http://www.city.musashino.lg.jp/cms/gikai/

インターネット議会中継をご覧いただけます

現在、平成18年9月定例会以降の、本会議・決算特別委員会・予算特別委員会の模様を録画でご覧いただけます。なお、録画は、生中継終了後3日程度(土・日・休日を除く)で、ご覧いただけます。

インターネット議会中継ホームページへのアクセス方法
 武蔵野市ホームページから → 市議会 → インターネット中継の順にクリックしてください。

インターネット議会中継ホームページ <http://www.musashino-city.stream.jfit.co.jp/>

携帯電話版ホームページのお知らせ

携帯電話で市議会からのお知らせをごらんいただけます。携帯電話版武蔵野市ホームページを開き、「市議会のお知らせ」をクリックしてください。

携帯電話版武蔵野市ホームページの開き方
 下記のURLを直接入力するか、携帯電話でQRコード(2次元バーコード)を読み取ってください。

URL <http://www.city.musashino.lg.jp/m/>



議案等審議結果(議決)一覧

第1回定例会

【市長提出議案(36件)】

- 武蔵野市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について……同意(全会一致)
*武蔵野市固定資産評価審査委員会委員、田代章夫氏の任期満了に伴い、再任の同意を求めるもの。
- 武蔵野市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について……同意(全会一致)
*武蔵野市固定資産評価審査委員会委員、高橋功次氏の任期満了に伴い、再任の同意を求めるもの。
- 武蔵野市組織条例の一部を改正する条例……可決(全会一致)
- 武蔵野市特別会計条例の一部を改正する条例……可決(賛成多数)
- 武蔵野市手数料徴収条例の一部を改正する条例……可決(全会一致)
- 武蔵野市ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例……可決(全会一致)
- 武蔵野市後期高齢者医療に関する条例……可決(賛成多数)
- 武蔵野市高齢者福祉総合条例の一部を改正する条例……可決(全会一致)
- 武蔵野市福祉型住宅管理条例の一部を改正する条例……可決(全会一致)
- 武蔵野市国民健康保険条例の一部を改正する条例……可決(賛成多数)
- 武蔵野市国民健康保険条例の一部を改正する条例……可決(全会一致)
- 武蔵野市介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例……可決(全会一致)
- 武蔵野市利子補給条例の一部を改正する条例……可決(全会一致)
- 武蔵野市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例……可決(全会一致)
- 武蔵野市立農業ふれあい公園の管理に関する条例……可決(全会一致)
- 武蔵野市市営住宅条例の一部を改正する条例……可決(全会一致)
- 武蔵野市立学校施設の開放に関する条例の一部を改正する条例……可決(全会一致)
- 東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約……可決(全会一致)
- 武蔵野市土地開発公社定款の一部を改正する定款……可決(全会一致)
- 市道路線の認定について……可決(全会一致)
- 平成19年度武蔵野市一般会計補正予算(第4回)……可決(全会一致)
- 平成19年度武蔵野市下水道事業会計補正予算(第1回)……可決(全会一致)
- 平成19年度武蔵野市国民健康保険事業会計補正予算(第3回)……可決(全会一致)
- 平成19年度武蔵野市老人保健(医療)会計補正予算(第2回)……可決(全会一致)
- 平成19年度武蔵野市介護保険事業会計補正予算(第2回)……可決(全会一致)
- 平成20年度武蔵野市一般会計予算……可決(全会一致)
- 平成20年度武蔵野市下水道事業会計予算……可決(全会一致)
- 平成20年度武蔵野市国民健康保険事業会計予算……可決(全会一致)
- 平成20年度武蔵野市老人保健(医療)会計予算……可決(全会一致)
- 平成20年度武蔵野市後期高齢者医療会計予算……可決(全会一致)
- 平成20年度武蔵野市介護保険事業会計予算……可決(全会一致)
- 平成20年度武蔵野市水道事業会計予算……可決(全会一致)
- 武蔵野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例……可決(全会一致)
- 平成20年3月における武蔵野市議会議員の期末手当に関する条例……可決(賛成多数)
- 平成20年3月における武蔵野市特別職等の職員の期末手当に関する条例……可決(全会一致)
- 平成20年3月における武蔵野市一般職の職員の期末手当に関する条例……可決(全会一致)

【議員提出議案(3件)】

- 沖縄戦「集団自決」についての教科書検定に関する意見書……可決(賛成多数)
- 議案第26号平成20年度武蔵野市一般会計予算に関する付帯決議……可決(全会一致)
- 武蔵野市議会委員会条例の一部を改正する条例……可決(全会一致)

陳情審議結果

- **採択**
「高等学校歴史教科書検定における沖縄戦の『集団自決』の記述」において修正指示を撤回し、申請時の文章に戻すことを求める意見書の提出に関する陳情(※)
- **意見付帯採択**
落書きからまちを守る「落書きクリーン条例等」の制定に関する陳情(※)
- **継続**
食の安全確保のため、膨大な放射能を放出している青森の早期着工に関する陳情
食の安全確保のため、膨大な放射能を放出している青森
- **取り下げ**
「武蔵野市「精神障害を持つ市民の人権憲章」の制定を求めることに関する陳情(※は継続審査となっていたものです)」
- **継続**
輸入牛肉の安全性を求めることに関する陳情
農水省食糧倉庫跡地に関する陳情
ムーバス吉祥寺東循環の路線変更に関する陳情
子ども医療費助成を義務教育終了時まで拡大することに関する陳情
容積率の見直しに関する陳情
子ども医療費助成を義務教育終了時まで拡大することに関する陳情

1面写真募集要領 次回の締切6月20日

- **内 容** : 武蔵野市内の風景(明らかに人物を特定できる場合は、ご本人の了承を得てください)。応募者自身が撮影した、未発表のオリジナル作品(カラー)に限ります。
- **規 格** : ①紙焼きの場合
・サイズ 六つ切り
②デジタルデータの場合
・ファイル形式 JPEG形式
・画像サイズ 1600×1200ピクセル以上
・ファイルサイズ 2MB程度まで(2MB以上になるとメールが受信できない場合があります)
- **期 限** : 6月20日(金)当日消印有効
- **応募方法** : 撮影者の住所・氏名・電話番号・撮影年月日・撮影場所・作品名・作品に関するコメント(100字程度)を明記の上、下記宛先までご応募ください。
*作品は返却いたしません。
- **宛 先** : 〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 武蔵野市議会事務局 市議会だより係
デジタルデータの場合はメールで ofc-gikai@city.musashino.lg.jp まで(CD-R等、各種メディアでの送付はご遠慮下さい。)
- **審 査** : 議会広報委員会が審査します。
- **発 表** : 採用された作品は、8月1日発行の市議会だよりに掲載します。
*賞品等はありませんのでご了承ください。
- **著作権** : 作品の著作権は製作者本人に帰属します。ただし、市議会だより掲載後6カ月間、他媒体での発表等をご遠慮いただくことを、作品採用の条件といたします。
- **問い合わせ** : TEL0422-60-1883